

おうちで
学校で

T A D O K U

英語多読

Extensive Reading

はじめてみませんか？

英語多読ってなに？

「多読の3原則」を念頭に、自分のペースに合った本を“楽しく”“たくさん”読んでいくことです。絵本のように文字の少ないやさしい本から、次第に文字の多い本へと次々に読んでいきます。

自分のペース・レベルに合わせて大量の英語を読んでいくことで、和訳しながら読むのではなく、英語を英語のまま理解できるようになるとされています。英語絵本から分厚い洋書へと進むステップとして、多読向け図書を読んでみませんか？



「多読の3原則」とは

1. 辞典を使わない

(引かなくても分かるやさしい本を選ぶ)

2. 分からないところはとぼす

(本筋と関係の薄い未知語は気にしない)

3. つまらなくなったら次の本へ

(1.2の原則で楽しく読めない本は無理して読まない)



「訳さず英語のまま理解する」のが多読の読み方です。



新しく始める人も、やり直したい人も「これなら簡単」と思える本からスタートし、まずは、10冊以上読むことをお勧めします。

日本語に訳さないで読むということがどういうことかが分かってくるのが30万語、日本語に訳すクセがなくなってくるのは、おおよそ100万語が目安だと言われています。レベル0.0~3.0の本で総語数100万語の読書の達成を目標にしましょう。

英語多読キーワード

★ 読みやすさレベル (YL)

多読資料の裏面に貼ってあるシール YL をご覧ください。

YL とは、読みやすさレベルの略です。YL (読みやすさレベル) は 0.0 から 9.9 まであり、YL 1.0 が英語圏の新小学 1 年生程度、大衆小説は 7.0 から 8.0 です。

★ 見出し語 (HW)

その本が何種類の単語を使って構成されているかを表したものです。本のレベルの目安になります。

各出版社によって定めている見出し語が違うので、同じ数値でも人によっては読みにくいと感じるかもしれません。本を選ぶときの参考にしてみるとよいですね。

★ 総語数 (WC・RW)

本が全体で何語で書かれているかを示しています。

多読で 100 万語目指そう! とっているのは、この数値を記録し、累計して 100 万語目指そうということです。

★ Graded Readers (グレーデッド・リーダーズ 略: GR)

外国語として英語を学ぶ人向けに作られた読み物。

英語学習の教材用に、語彙や文法を制限して段階的に難しくなるよう書かれています。(例) Macmillan Readers, Foundations Reading Library

★ Leveled Readers (レベルド・リーダーズ 略: LR)

英語を母国語とする子ども向けに作られた絵本。学習用レベル別絵本。

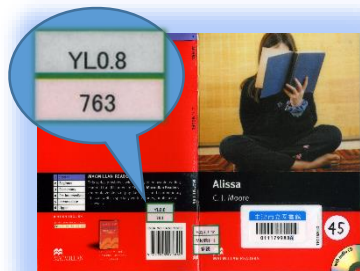
(例) Oxford Reading Tree

☀️ 小幡記念図書館の多読用ラベルは…

小幡記念図書館では、多読向け図書の分類を Y837.7 と YE に統一しています。

本を選びやすいように、本の裏側に
総語数と読みやすさレベル (YL) を
記載しています。

絵本は、発達段階に応じて対象の目安
を記載しています。



おすすめ本・WEB サイト

もっと知りたい方へ



古川 昭夫 / 監修
英語多読入門

配置場所：多読 / 830.7

外山 節子 / 監修・著
読み聞かせのための
音のある英語絵本ガイド
配置場所：多読 / 019.5 ト

『多読・多聴ステーション』

<http://www.kikuyomu.com>



『多読・Tadoku 入門』

<http://tadoku.org/english/tadoku-tips/>

小幡記念図書館 英語多読用シリーズ一覧

(2017年11月現在)

Oxford Reading Tree シリーズ 222 冊

Macmillan Reader シリーズ 184 冊

Foundations Reading Library 42 冊

音のある絵本 100 冊

